

科目名称：	ファイナンシャルプランニング演習	
担当者名：	北川良徳	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
人生100年時代、生活環境と自らは変化を続けます。皆さんは生き物として人として日々を充実させようと取り組むか否か。50年先は見えませんが、1週間、1か月、1年先に元気に前進できていられるようライフプランを組み、そして、数十年後に思い続けてきた人生を歩んでいるよう経済知識を吸収しましょう。ここで学んだ3級FP技能士の知識を基礎に、人生充実に興味を持てるようWell-Beingにもふれながら授業を進めます。		
授業の達成目標・到達目標		
前半はFP技能士資格合格に達成目標を置きます。1年後期にテキストでつかんだ6分野の基礎知識から、制度や税制が実生活にどうからんでいるか、背景など解説を加え、生活者に必要な知っておきたい制度を理解します。また、学科・実技どちらかのみ合格時は、再受験で3級資格取得に到達する支援をします。さらに希望者には、3級取得後、知識に磨きを掛ける限定講習を組み、9月に2級の合格を目指します。		

ビジネス実務学科		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。		
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。		○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)		80		20	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 ファイナンシャルプランナー	《経験年数1》 25年
	《内容2》 生命保険・損害保険の相談設計販売	《経験年数2》 41年
	《内容3》FP技能士2級・3級受験講習	《経験年数3》11年
	《内容4》金沢市シニア相談、FP協会相談	《経験年数4》3年、10年
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
生活経済の備え、税法、金融資産運用方法	税制を理解し、資金・物価対策として資産形成・運用の手段を選択できる	税制とお金・確定拠出年金制度を理解している	税制・少額投資非課税制度を理解している	税制金融商品の主な概要を理解している
生活リスクへの備え、社会保険・個人保険	生命保険・損害保険の用途と選択を理解している	社会保険制度全般を理解している	国民・厚生年金制度を理解している	国民年金制度のみを理解している
ライフイベント表・キャッシュフローのシミュレーションと6分野知識	ライフプラン実現に活用する制度を説明できる	暮らしの生活リスクにおいて、6分野から使う制度を理解している	6分野の知識概要を理解している	6分野の知識概要について、分野によって得て不得手がある
3級FP技能士資格取得に学科・実技の問題からケースで習得	3級FP技能士資格に合格し、全体的に知識を習得した	学科・実技の一方のみ合格し、再受験を申込み、積極的に取組んで	学科・実技の一方のみ合格したもの、再受験は断念した	学科・実技とも合格できずに、努力と再受験を断念した

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 授業概要・3級対策説明、生活の備え、社会保険制度	自分ごととして暮らしの中の社会保障制度	60分
第2回 ライフプラン・資金計画・金融資産運用	暮らしのプランと準備、	60分
第3回 暮らしの中の教育資金・住宅資金・長生き・相続	各実技問題を中心に問題と解説	60分
第4回 6分野から学科と実技の解説	問題と解説	60分
第5回 2024.1学科問題体験	解答・解説	90分
第6回 2014.1実技問題体験	解答解説	90分
第7回 速習問題	A・Bマスター	90分
第8回 過去問抽出、試験当日前後ガイダンス	解答・解説	90分
第9回 金融リテラシー⇒ライフプラン（ディスカッション）	生活経済知識を踏まえて人生をどう進む	30分
第10回 コツコツと積立て資産＋健康リテラシーからWell Being	ドルコスト平均法、WHOの健康	60分
第11回 自身のライフプランニングに気になる不明・不安点	従来と今後について相談・指針	60分
第12回 人生のリスク、健康管理、ひとり暮らし	チェックからディスカッション	60分
第13回 速習学科・速習実技問題 再受験・2級チャレンジャー対応	実施・解説・対応	60分
第14回 速習問題	問題対応	60分
第15回 速習問題	問題対応、受験と研修をガイダンス、	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業で数回実施するFP技能士過去問題の結果及び簡単なクイズの結果を80％で評価。
ディスカッションの取組状況を20％で評価。

課題に対してのフィードバック

ライフプランとディスカッションに方向提案、試験取組と結果にアドバイス・コメント

教科書・参考書

1年後期で使用した「F P3級合格んトリセツ テキストと速習問題」他、過去問・使用資料は講師が用意、2級対策には別途7月案内